



♪ジョイコン NEWS ♪

第8号 2014年10月17日

今年のノーベル物理学賞に赤崎勇、天野浩、中村修二の三氏が選ばれました。

「高効率青色発光ダイオードの発明」が受賞理由です。白熱電球や蛍光灯に替わる照明のみならず、ディスプレイや情報通信分野で人々の暮らしを変えつつあるだけに、発明の影響が実感できますね。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」(第8号)をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
 - ◆ 第12回コンサート
- 【2】 今後の予定 (先取り情報)
 - ◆ 第13回コンサート
 - ◆ 第14回コンサート
- 【3】 ストラディヴァリウスはなぜ人気？
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■ 第12回コンサート ■■

◇ 2014年11月16日 (日曜日) 14:00 開演 (13:30 受付開始)

◇ 出演：長尾春花 (ヴァイオリン)、實川風 (ピアノ)

◇ プログラム (予定)

- ◆ ヴィターリ：シャコンヌ
 - ◆ ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第2番
 - ◆ ラフマニノフ：ヴォカリーズ
 - ◆ ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲より第18変奏
 - ◆ パガニーニ：カンタービレ
 - ◆ シミノフスキ：ノクターンとタランテラ
- ほか

第12回ジョイフルコンサートは『実力派！若き音楽家が繰り広げる名曲の世界』と題して、お届けします。

ヴァイオリン長尾春花さんとピアノ實川風さんのデュオリサイタルです。お2人ともお若いですがすでにいろいろな所でご活躍中です。

重厚でまたメランコリックで聴き応えがあり、これから寒くなっていく季節にぴったりの曲で構成されたプログラムです。その中から独断と偏見で選びました。

☆ヴィターリ 「シャコンヌ」

シャコンヌとは？

シャコンヌは17世紀から18世紀に愛好された、ゆっくりとしたテンポの変奏形式による舞曲です。原則として3拍子を取り、4小節8小節の低音進行が一定の和音進行に支えられて、変奏を続けていきます。

中南米に起源を持つ舞曲で、スペイン、イタリア、フランス、ドイツ、イギリスへと伝えられました。

シャコンヌと聞くとバッハがよく知られていますが、ヴァイオリニストにとってヴィターリのシャコンヌは誰もが知るような曲だそうです。今回初めて聴きましたが、重々しいピアノから始まり、ヴァイオリンの何とも切ないメロディーが続きます。物思いに耽る秋の夜長にぴったりの曲です。

☆パガニーニ 「カンタービレ」

パガニーニには面白いエピソードがたくさんあります。パガニーニは作曲家兼ヴァイオリニストでした。非常なヴァイオリンの名手で、そのため悪魔に魂を売り渡してその高度な演奏テクニックを手に入れたと噂されていたそうです。そのためコンサートの聴衆の中には真剣に十字を切ったり、足が地に着いているのかだけ見ていた人もいたそうなのです。13歳でヴァイオリン演奏について学ぶことがなくなってしまい、自作の練習曲で練習していたそうです。本当に天才ですね。

肖像画だけではわからないのですが、病弱で痩せていて浅黒かったということ、見た目も悪魔のように見えたのでしょうか。不気味なオーラを醸し出していたのかもしれませんが。病気の治療にアヘンと水銀を投与していたということですが、今の常識では考えられませんね。

気の毒な話ですが、死後しばらく埋葬を拒否されて遺体は防腐処理をされて転々とし、最後イタリアのジェノヴァの共同墓地に安置されました。水銀中毒になっていた遺体は正に悪魔に魂を売り渡した形相だったのかもしれませんが。そんな人が近くに眠るのは確かに気味が悪いですね。

商売上手というかお金に執着する一面もあったそうです。弦をわざと自分の爪で切っていく演奏するパフォーマンスも加え、ものすごい高額なチケット代を要求したとか。

シューベルトは家財道具を売り払って、パガニーニの演奏会のチケットを買い、とても演奏に感動して「天使の声を聴いた。」と言ったのだそうです。リストは初恋に破れて落ち込んでいた時にパガニーニの演奏を聴いて、「ピアノのパガニーニになる」と決意し、超絶技巧を磨いたそうです。リストも派手な演奏パフォーマンスで有名ですのなるほどと思いました。

パガニーニはたくさんのヴァイオリン曲を作曲していますが、恐らく自分が弾けてしまうため、高度な技術を必要とする難曲ばかりとなっています。その中で「カンタービレ」はとてもロマンチックな旋律で胸がキュンと締め付けられるような部分があると書いている人がいました。私は何故かホットココアを思い浮かべました。温かくて日頃の緊張がフッと緩む感じがしたのだと思います。皆様それぞれどのような事を思われるのでしょうか？

「パガニーニの主題による狂詩曲より第18変奏」も演奏予定です。これはラフマニノフがパガニーニのヴァイオリン曲「第24番」主題と変奏の「主題」を用いて作曲したものです。とても甘美なメロディーが流れて個人的にはとても好きな曲です。コマーシャルなどにもよく使われていますので、耳にされたことがあると思います。ピアノとオーケストラの演奏が通常ですが、今回はどのように演奏されるのでしょうか？

☆シマノフスキ 「ノクターンとタランテラ」

シマノフスキはロシア領となっていた（現在のウクライナ周辺）ポーランドの貴族の家に生まれ、芸術に対する理解の深い両親のもとで高度な音楽教育を受け育ちます。

この曲は第1次世界大戦中に演奏活動ができなかったため、キリスト教、イスラム教、オリエントの勉強に没頭している最中に書かれたものです。そのためでしょうがショパンのノクターンとは全然雰囲気の違い、神秘的で言葉は悪いですがちょっと不気味な感じで始まります。タランテラは毒蜘蛛という意味もあってかなりリズムも激しい曲です。スペインの作曲家ファリャの影響があるとも言われています。

第1次世界大戦後ポーランドは独立し、シマノフスキはポーランドへ移住します。その後ポーランド南部のタトラ山地の民謡に傾倒していきます。前回演奏されたバルトークと同じだと思いました。他国に支配された経験を持つと自分の国のアイデンティティーを音楽家は音楽に求めるものなのですね。

長尾さんはこの曲を演奏会で何回か演奏したことがあるようです。實川さんとのデュオも幾度かされていますし、息の合った演奏を下さると思います。どうぞお楽しみに。(A.N.)

■ 予約申し込みはこちら
ホームページ：<http://www.okkurayama-joycon.com/>
予約専用電話：080-8424-5108

※既に特別予約（会場予約）をされた方、ホームページで予約済みの方はあらためて申し込みをする必要はありません。

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」は受付けておりません

■■ 第13回コンサート ■■

◇ 2015年1月18日（日曜日）14:00 開演（13:30 受付開始）
◇ 出演：鎌田美穂子（箏・三絃・二十五絃箏）、大堀由美子（ヴァイオリン）

☆ ジョイコン初の和楽器の登場です。
箏の鎌田美穂子さんは映像や朗読とともに箏演奏を行ったり洋楽器と共演したり、独自の世界を創っておられる方です。ヴァイオリンの大堀由美子さんも単なるヴァイオリン演奏だけでなく朗読も行い、音と声の可能性を追求されています。今回は、そのようなお二人がそれぞれのソロ演奏、箏とヴァイオリンの二重奏そして朗読と古今東西の音と語りをご堪能いただけたらと思います。いつもとは違った新春コンサートをどうぞお楽しみに。

■■ 第14回コンサート ■■

◇ 2015年3月15日（日曜日）14:00 開演（13:30 受付開始）
◇ 出演：堀沙也香（チェロ）

☆ 堀沙也香さんがお父様の堀了介氏（元N響首席チェリスト）と父娘デュオを披露。

【3】ストラディヴァリウスはなぜ人気？

泣く子も黙るヴァイオリンの名器「ストラディヴァリウス」。現存しているのは約600挺で、何億円という値段のつくものもあります。その魅力とはいったい何でしょうか。

演奏家がヴァイオリンに求めているものは、ただ音が大きい小さいとか、音色が良いということだけではなくさそうです。演奏する時に作曲家から、例えば深い音、激しい音、悲しい音、かわいい音、色っぽい音などのメッセージを受け、その上で自分の表現をしようとする、懐の深さ、

幅の広さ、奥行きを持った楽器が必要になります。
それから、実際に協奏曲を弾く時には80～90人のオーケストラに対抗できる音が出る必要があります。
また、音がすぐそばにいる人だけでなく、2000人規模の大きなコンサートホール後方の聴衆にまで届くということも必要です。それは音の大きさではなく、音が通るか（音が伸びるか）どうかということなのです。それに応えてくれるのがストラディヴァリウスだと言われています。
実際にヴァイオリニストが広い会場でストラディヴァリウスを弾くと音が伸びていくのが自分でもわかるそうです。

ストラディヴァリウスは17～18世紀に作られたものです。19世紀初頭に、より大きな音の出るモダン・ヴァイオリンに改造されましたがその価値は変わっていません。それは基本構造がしっかりとっていて改造後も素晴らしい音色を保っているからです。

様々な製作者がストラディヴァリウスのような素晴らしい楽器を追い求めて作ってきましたが、まだこれを超えるものは出ていない、というのが真実でしょう。
だから世界中のヴァイオリニストがストラディヴァリウスを探し回るのです。
(のん)

【4】コンサートのアンケートから

★前回（第11回）ジョイフルコンサート
森岡有裕子（フルート）、森岡聡（ヴァイオリン）による
『ハーモニーを楽しむ～フルートとヴァイオリンの華麗なる共演～』は如何でしたか？

ご姉弟での演奏機会はあまりないそうで、本番一週間前には演奏会場で入念なりハーサルを行うほど熱の入れようでした。

アンケートの自由記入欄（ご感想など）には、
『ヴァイオリンとフルートの音色がこんなに合うとは初めて知りました！！』
『お二人の息の合った良い演奏でした。ホールの雰囲気とも合っていて素敵でした』など好意的メッセージが数多く寄せられました。

★第1回～第10回の「アンケート」集計結果のご紹介。（第2回目）
今回は、「コンサート情報の入手先」についての結果です。
（回収総数：554枚、この設問は「複数可」です）

- ①チラシ；18% ②記念館情報誌；3% ③ホームページ；7%
④スタッフ；38% ⑤演奏者；12% ⑥広報誌；5%
⑦新聞；3% ⑧その他；17%

いろいろなルートで入手されていることが分かりました。
これからもメールマガジンなどを含め情報発信を充実させて参ります。

【編集後記】

秋本番となりました。

北海道から紅葉前線が南下し、続々と紅葉の便りも届いています。
また、秋桜や秋バラなど草花の開花情報も増えてきました。

遠出をするのも、近場の公園を散歩するにも良い季節です。
秋を満喫するのは如何でしょう。

※このメールマガジンは、
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み

次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

info@ohkurayama-joycon.com

.....

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール info@ohkurayama-joycon.com

携帯電話 080-8424-5108

URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>

.....